

令和 8 年度 第 1 回宮崎県立農業大学校外部評価委員会 議事録

令和 8 年度第 1 回宮崎県立農業大学校外部評価委員会を開催しましたので、お知らせいたします。

会議の概要

1. 日 時

令和 8 年 8 月 2 7 日（木） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 2 0

2. 場 所

宮崎県立農業大学校 会議室

3. 出資者

（1）外部評価委員 1 1 名

西田和夫委員長、岩切哲郎委員、荻原雅彦委員、河野幸代委員、篠原智和委員、竹下稔委員、田村健登委員、中邨誠委員、福留寛行委員、横山英二委員、和田優委員

（2）県立農業大学校職員 1 0 名

校長、副校長（総括）、副校長（教育）、教務学生課長、農学科長、畜産学科教授（学科長代理）、農学科教授（フードビジネス専攻）、総務課主幹、教務学生課主任技師（2 名）

4. 議事の内容

【説 明】学校の概要及び学校評価の概要（副校長（教育）、教務学生課長）

【協 議】自己評価に対する外部評価委員の評価

5. 要旨（委員からの主な意見）

（1）学生確保

ア 情報発信

- ・ SNS の運用は学生にとっても勉強になる。学生と連携して情報発信の質を高める取組をしたほうがよいのでは。
- ・ Facebook の内容はすごくよい。誰のために情報発信するのか。保護者向けの内容に感じる。学生募集のためであれば学生目線の内容を学生と一緒にやり高校生に魅力ある内容にした方がよいのでは。

イ 募集活動

- ・ 入学動機について学生アンケートを行い、その内容を分析して活用すると良い。
- ・ 農業の魅力をもっとアピールすることが大事。

（2）教育の質の向上

ア 講義・実習

- ・ ドローンの活用が話題によくあがる。これからはドローンの資格は必修にすることも検討して欲しい。
- ・ 環境制御装置付きハウスでは、得られたデータをどのように活用するかといった技術習得に力を入れてもらいたい。
- ・ アグリカレッジひなたの取組などで、もっと経営スキルの習得や経営感覚を早い時期に身につけられるように力を入れてもらいたい。

イ 研修（インターンシップ）

- ・ インターンシップの時期は例年同じなのか、時期が適切か検討して欲しい。

ウ 学生指導・支援

- ・ 寮の運営は学生に方針を決めさせて対応していくべき。

- ・寮の運営は一部の学生へ負担が集中しないように配慮が必要。
- ・GAP の考え方は農業経営をする上で大切なものなのでしっかりと指導してもらいたい。
- ・農大祭の取組についてもこの項目の評価の対象としてもよいのでは。

(3) 進路指導

ア 資格取得

(特になし)

イ 就農・就業対策

- ・農大を卒業してから営農がどれくらい続いているのか追跡調査をしてもらいたい。